

目次

はじめに	1
PART I . CASBEE-不動産の概要	4
1. 検討の背景と本ツールの位置づけ	4
2. CASBEE-不動産の基本方針	7
3. CASBEE-不動産の評価項目	9
3.1 CASBEE-不動産の位置付け	9
3.2 評価の重み付け	10
3.3 評価項目	12
3.4 区分所有建物(フロア単位等の部分評価)の評価への拡大	21
3.5 市場における評価の位置付け	21
3.6 評価例	22
3.7 評価結果シート	23
PART II . CASBEE-不動産の評価基準	36
1. エネルギー／温暖化ガス	38
1.1 エネルギー使用・排出原単位(計算値)	40
1.2 エネルギー使用・排出原単位(実績値)	51
1.3 省エネルギー(仕様評価)	66
1.4 自然エネルギー(間接利用)	69
2. 水	71
2.1 水使用量(計算値)	72
2.2 水使用量(仕様評価)	77
2.3 水使用量(実績値)	79
3. 資源利用／安全	87
3.1 高耐震・免震等	88
3.2 再生材利用率他・廃棄物処理負荷抑制	91
3.3 躯体材料の耐用年数	99
3.4 主要設備機器の更新必要間隔／設備の自給率向上／維持管理／バリアフリー	100
4. 生物多様性／敷地	108
4.1 生物多様性の向上	109
4.2 土壌環境品質・ブラウンフィールド再生	112
4.3 公共交通機関の接近性	113
4.4 自然災害リスク対策	114
5. 屋内環境	117
5.1 昼光利用	120
5.2 自然換気性能	126
5.3 眺望・視環境	130
5.1 自然利用(集合住宅)	132
5.2 健康・快適(集合住宅)	134

5.3 防犯対策(集合住宅).....	136
5.4 改修による屋内環境向上.....	137
6. ホールライフカーボン(WLC)の評価.....	138
6.1 背景.....	138
6.2 ホールライフカーボン評価の考え方.....	138
6.3 ホールライフカーボンの評価基準.....	139
PARTⅢ. 建築環境 SDGs チェックリスト.....	140
1. 建築環境 SDGs とは.....	140
2. 建築環境 SDGs(不動産)チェックリストの評価方法.....	148
3. 建築環境 SDGs(不動産)採点基準.....	160
ゴール1 貧困をなくそう.....	161
ゴール2 飢餓をゼロに.....	161
ゴール3 すべての人に健康と福祉を.....	161
ゴール4 質の高い教育をみんなに.....	164
ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう.....	166
ゴール6 安全な水とトイレを世界中に.....	167
ゴール7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに.....	168
ゴール8 働きがいも 経済成長も.....	171
ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう.....	173
ゴール10 人や国の不平等をなくそう.....	175
ゴール11 住み続けられるまちづくりを.....	175
ゴール12 つくる責任 つかう責任.....	178
ゴール13 気候変動に具体的な対策を.....	180
ゴール14 海の豊かさを守ろう.....	181
ゴール15 陸の豊かさも守ろう.....	182
ゴール16 平和と公正をすべての人に.....	182
ゴール17 パートナーシップで目標を達成しよう.....	183
参考資料.....	184
1. 用語解説.....	184
2. 「運用」の GHG 排出量の算定方法 (既存 CASBEE ツール※からの部分転載).....	187
3. 一次エネルギー換算値について.....	190
あとがき.....	191